

対象年度	令和 8年度							総合計画実施計画策定及び行政評価シート			
事務事業名	効率的・効果的な事業運営							予算事業名	-		
予算科目	会計	XX	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	地方公営企業法、水道法		
			XX	XX	XX	XXXX	経常経費				
総合計画体系	住みたい・住み続けたい 安全・快適な都市を目指そう 地球環境にやさしいまちづくり 安全・安心な水道水の安定供給							事業の区分	主要事業		
								担当課係等	水道課 業務係		
事業期間	継続 (平成18年度～ 年度)										
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】				
水道料金検針・徴収業務及び給水装置関連業務の効率的・効果的な運営により、給水収益の確保及び水道利用者へのサービスの向上を図る。							人件費削減、業務の効率化、収納率の向上等を目的に平成18年度から水道料金検針・徴収業務委託の民間委託を開始した。その後、他事業体の動向をふまえて給水装置関係業務委託についても、平成26年度から民間委託を開始した。				
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】				
<ul style="list-style-type: none"> 水道料金検針・徴収業務、給水装置関連業務の民間委託。 水道料金システムの民間委託。 							水道利用者、指定給水装置工事事業者				
							【事業をとりまく環境の変化】				
							平成14年度の水道法改正により第3者委託制度が創設され、各水道事業者では、民間委託や広域化が進んできている。現在は、料金改定などにより純利益は確保できているものの、人口減少等による給水収益の減少や施設の老朽化・耐震化対策により収支がひっ迫することが予想される。今後、さらに民間に任せられる部分は委託し、業務の効率化を図るとともに経費削減を進め、施設の老朽化・耐震化対策のための資金を確保することが重要である。				
【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】				【令和10年度 事業内容】			
<ul style="list-style-type: none"> 水道料金検針・徴収業務、給水装置関連業務の民間委託 水道料金システムの民間委託 水道事業の広域連携に向けた調整 (投資財政計画策定) 水道料金等包括委託の検討 				<ul style="list-style-type: none"> 水道料金検針・徴収業務、給水装置関連業務の民間委託 水道料金システムの民間委託 水道事業の広域連携に向けた調整 (投資財政計画策定) 水道料金等包括委託の準備 				水道料金等包括委託開始 水道事業の広域連携「経営の一体化」開始			
■ 事業費											
財源内訳			R06年度	R07年度							
	国	庫	支出金	0	0						
	県		支出金	0	0						
	地	方	債	0	0						
	そ	の	他	93,814	72,987						
	一	般	財源	0	0						
歳入計 (千円)			93,814	72,987							
歳出内訳	節 (番号 + 名称)		金額 (千円)	金額 (千円)							
	12	委託料	69,944	72,987							
	17	備品購入費	23,870	0							
	歳出計 (千円) (A)			93,814	72,987						
伸び率 (%)				-22.20							
備考	予算書 406 ページ										
	第6次結城市総合計画 78 ページ										

令和 6年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R06年度	R07年度	R08年度
活動 指標	滞納整理	回	目標	24.00	24.00	0.00
			実績	24.00	0.00	0.00
	給水装置工事申込	件	目標	400.00	400.00	0.00
			実績	249.00	0.00	0.00
成果 指標	収納率	%	目標	99.99	99.99	0.00
			実績	97.20	0.00	0.00
	給水装置工事検査合格率	%	目標	100.00	100.00	0.00
			実績	100.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	民間委託等による事業効率化を推進したことにより、収納率の向上が図られるなど事業の必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	安定的な水道水の供給を目指すうえでは、現状の事業主体は妥当である。
	手段の妥当性	A 妥当である	効率化を図るうえでは、民間委託は妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらも言えない	収納率の向上、人員削減により効率性は向上しているが、内容の見直しも必要である。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	水道使用者に対する偏りは見られない。
有効性	成果向上の余地	B どちらも言えない	収納率の向上、人員削減など成果は上がっているものの、更なる成果向上のため見直しも必要である。
進捗度	事業の進捗	B どちらも言えない	収納率は向上しているものの、目標達成は厳しい状況である。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
定期的な滞納整理の実施により収納率の向上が図られるなど一定の効果は上がっており、民間委託による事業の効率化が図られているものの、目標達成は厳しい状況である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
水道料金検針・聴取業務委託及び水道料金システムについて、適宜見直しを行うとともに、滞納整理を強化する。コスト削減に努め更なる事業の効率化に努める。水道事業の広域連携を見据えたうえで、包括委託を検討し、更なる効率化を図って行く。			

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>方向性の具体的内容</p> <p>水道料金検針・徴収業務委託と料金システムの包括委託を検討し、更なるコスト削減を図るとともに、水道事業の広域連携を見据え、県と調整市ながら効率的な事業運営に努める。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）</p> <p>上記評価のとおり</p>
<p>管理課連絡欄</p>